

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

けだ

No.158

いけだ市議会だより

平成30年(2018年)2月1日



平成30年 池田市成人の集い

12月定例会 …… 2

請 願 …… 2

意 見 書 …… 2

議 会 日 誌 …… 3

一 般 質 問 …… 4

委 員 会 レ ポ ー ト …… 10

議 決 結 果 …… 12

や ま ば と …… 12

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。

12月定例会

12月定例会は、12月7日に開会し、市長から報告案件1件と議案9件、並びに人事案件1件が提出され、本会議及び委員会と審議を行い、いずれも承認・可決・同意し、市民から提出された請願1件は不採択となりました。

また、9月定例会で閉会中の常任委員会に審査付託した平成28年度決算8件についても認定しました。

12月21日・22日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、13人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、21日には、市長から提出された追加議案9件を審議し、いずれも原案どおり可決し、22日には、羽田達也議員から提出された議員辞職を許可し、12月定例会を閉会しました。

池田駅構内に インフォメーションセンター

池田駅構内に設置検討されていた観光情報の発信拠点について、阪急電鉄との協議が成立したため、補正予算980万円が計上され、全会一致で可決しました。

平成30年2月末には開所される予定です。

義務教育学校に関する 条例の改正

学校教育法等の一部改正による義務教育学校の追加に伴い、関係条例の規定が整備され、義務教育

の一体型学校運営において、役割や位置づけ、管理体制が明確になりました。独自のさまざまな教育内容の検討、実施が可能となり、教育課程の変更も可能となる内容です。審議の中では小中一貫教育については、授業のあり方など問題があり、義務教育学校の内容が説明されていないとする反対意見が出されましたが、独自性が発揮され前期修了式や後期卒業式は従来通り実施されることや、ほそごう学園が特認校としてさらなる教育の充実が図られるとの意見が出され賛成多数で可決しました。

人事院勧告に従い 職員給与の改定

平成29年8月の人事院勧告に伴い、一般職員の給料表を平均0・2%引き上げ、勤勉手当を0・1

月引き上げ並びに退職手当に係る調整率を3・3%引き下げるための関係条例等の制定及び一部改正と、それに伴う補正予算が追加議案として提出されました。審議の中

では、人事院勧告の基礎となる民間給与実態の調査方法に異議があるとの反対意見が出されたほか、逮捕起訴され係争中の議員にも改正案が適用されることに市民からの同意が得られないとして、修正案が提出されましたが、人事院勧告の意義や、民間準拠とすることは合理的であり、よりよい人材の確保、職員のモチベーションの維持、向上に向けて今回の提案には賛成するとの意見が出され、結局、原案を賛成多数で可決しました。

請願

12月定例会に市民から提出のあった請願の審査結果は、次のとおりです。

○国民健康保険都道府県単位化の下での保険料や減免制度のあり方に関する請願

不採択

意見書

12月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○自動車安全特別会計からの一般会計繰入金に関する意見書

○保育士の処遇改善を求める意見書

呉服小吹奏楽部による 議場コンサートを開催

市民に、より身近に議会を感じてもらい、議会を傍聴いただくために、初めての試みとして12月定例会の最終日に議場コンサートを開催しました。創部70周年を迎えた呉服小学校吹奏楽部の児童68名が演奏し、約100名の方が鑑賞しました。



羽田達也議員が辞職

**12月22日に羽田達也議員が議長宛に辞職願を提出
本会議において全会一致で辞職を許可**

羽田達也議員については、平成28年4月、自身が経営していた整骨院で保険金をだまし取ったとする事件への関与が疑われる報道があり、同年10月に逮捕・起訴されました。本市議会では、これまで2度にわたり辞職勧告を決議しましたが、辞職には至っておりませんでした。

また、平成29年11月には7名の解職請求代表者を中心に、リコール署名活動が実施され、住民投票には至りませんでした。約2万2千人もの署名が集まりました。それでもなお辞職の意思がなかったため、市議会としては12月定例会において3度目の辞職勧告を決議する準備を進めておりました。しかし、急遽、12月22日に羽田達也議員から議長宛に辞職願が提出されましたので、本会議において全会一致で同日付で辞職を許可しました。

市議会始まって以来の不幸事でありましたが、羽田達也議員の辞職は、市民の皆様の声が届いたものと考えております。今後、本市議会としても議員の良心と責任感をもって品位を保持し、識見を養う努力を続けてまいります。

おわびと訂正

本紙1月1日号の6ページに「羽田達也議員に対し3度目の辞職勧告決議を可決」と掲載しましたが、右記のとおり、12月22日付で羽田達也議員から辞職願が提出され、議員辞職しましたので、辞職勧告は行いませんでした。おわびして訂正いたします。

議 会 日 誌

10月	11月	12月	1月
10月3日 決算説明会	11月2日 市議会たより編集 特別委員会	12月5日 各派代表者会議	1月9日 市議会たより編集 特別委員会
10月13日 土木消防委員会	11月22日 各派代表者会議 市議会定例会	12月7日 市議会定例会	1月12日 市議会たより編集 特別委員会
10月23日 厚生委員会	12月21日 各派代表者会議 議会運営委員会	12月24日 文教病院委員会	1月9日 市議会たより編集 特別委員会
10月27日 総務委員会	12月14日 総務委員会	12月27日 総務委員会	1月12日 市議会たより編集 特別委員会

議会の予定

3月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

- 3月 1日(木) 本会議
- 3月 6日(火) 本会議
- 3月 7日(水) 本会議
- 3月 9日(金) 委員会
- 3月12日(月) 委員会
- 3月13日(火) 委員会
- 3月15日(木) 委員会
- 3月27日(火) 本会議



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。今議会は13人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをいただきました。主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

問 災害時の避難所でのペットの居場所について
(自民同友会)

ペットは飼い主にとって大切な家族の一員であり災害時で不安に感じる時間を一緒に過ごしたいと思う。一方でペットを飼っていない方にとっては鳴き声などがストレスに感じてしまうかもしれない。適切な方法をマニュアル化するべきだと思つた。

答 関係機関と協議を重ねマニュアルを更新する

東日本大震災や熊本地震では避難所におけるペットの問題点として感染症の恐れ、鳴き声や臭いの問題があった。避難所開設時にペット専用スペースの確保やペット飼育者名簿の作成等を避難所運営

マニュアルに記載し、適切な対応ができるよう努める。

問 池田市版アプリの導入を検討してみたい
(自民同友会)

本市の情報量をたくさんの人々に伝えるためには、例えば千葉市の「ちばレポ」のようなスマートフォンアプリが非常に有効なツールになると考える。このようなアプリを参考に池田市版アプリ作成を行つてはと考えるが見解を問う。

答 費用対効果等を考え検討していく

多くの方がスマートフォンを携帯している現状において、スマートフォンアプリを活用した情報配信は、行政情報の提供チャンネル拡大を図る上で有効なツールであ

ると考えているが、池田市版のアプリを作成することについては、費用面や運用管理にかかる負担などについて考慮することが必要であると考えている。今後、費用対効果や他市における導入などを鑑みながら検討していく。

問 地域分権制度の見直しに向けた取り組みは
(自由クラブ)

各地域コミュニティ推進協議会の「地域構想・地域実施計画」策定に向けた取り組みについて問う。

答 地域実施計画策定の取り組みを進める

協議会が、地域構想・地域実施計画を策定することで、協議会の進むべき方向性や役割が明確になり、地域の課題がより明らかになるものと認識。各協議会の状況等を踏まえながら、地域構想・地域実施計画の策定に向けた取り組みを進めるとともに、第7次総合計画にも反映していく。

問 拡張された市役所前広場の活用方法は
(民社クラブ)

五月つづじを植栽していたところ、板張りの広場になっている。カップヌードルミュージアム大阪

池田に来られた人々をおもてなしするような場所と考えるが何の活用もされていない。広場の活用をどのように考えているのか。

答 イベント等の開催で池田の魅力発信の場

看板は広告スペースとして、また、広場は新車の展示場としても利用可能と考えているが、一定の使用条件の基準が必要。

問 総合的発注方式は特定企業に受注集中し問題
(日本共産党)

石橋市営住宅や給食センターなどでの総合的発注方式では、グループ公募で1社のみ応募が続いている。グループ内での設計、建設などの発注は1社のみとなり随意契約となる。また特定業者への発注が重なるなど問題ではないか。

答 軽々に総合的発注方式使すべきではない

公共性・公平性・競争性の原理が働き透明性が確実な入札制度が必要。軽々に総合的発注方式は使すべきではないと考える。本来は、市がきちんとグリップを握って分離分割で発注をしていくことは、基本姿勢として間違いない。

一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

- | | |
|----|------------------|
| 1 | 荒木 眞澄 (公明党) |
| 2 | 中田 正紀 (市民クラブ) |
| 3 | 石田 隆史 (大阪維新の会池田) |
| 4 | 三宅 正起 (市民クラブ) |
| 5 | 西垣 智 (自由クラブ) |
| 6 | 倉田 晃 (自由クラブ) |
| 7 | 馬坂 哲平 (公明党) |
| 8 | 小林 義典 (自民同友会) |
| 9 | 浜地 慎一郎 (自民同友会) |
| 10 | 白石 啓子 (日本共産党) |
| 11 | 小林 吉三 (日本共産党) |
| 12 | 内藤 勝 (民社クラブ) |
| 13 | 藤原 美知子 (日本共産党) |

(※質問順)

「てるてる広場」等の
にぎわい創出について

(公明党)

池田駅北側のてるてる広場やその周辺に、本市の特色等をあらわした、イルミネーションを用いることにより、にぎわいの創出が図られないか問う。

にぎわい創出方策の
一環として今後も検討

今後は、インフォメーションセンター設置の状況等を踏まえながら、池田駅周辺のにぎわい創出方策の一環として、イルミネーションの設置についても検討する。

がんがら火祭りに対する
市長の発言の真意は

(民社クラブ)

伝統あるがんがら火祭りは、倉田市長の働きかけで青年会議所をはじめ、建設業組合など多くの皆さんの協力をいただき行われた。祭り終了時のケーブルテレビでの祭りは一人の祭りでないと言われた真意について問う。

池田の伝統の火祭りは
みんなの祭り

一基での開催も危がまされた中でお手伝いする方法など議長とも相談した。保存会が実行主体の団体で

ある。担ぎ手がいないと、祭りの存続は不可能。市制施行70周年時は3基お願ひした。もう一回、3基の実現を期待する。テレビで「できてよかったですね。これからも続ける多くの人々の祭りです。」と申し上げた。独裁組織の保存会ではだめ。一人の祭りとは保存会会長の祭りでないとしら上げて。担ぎ手を地元だけに頼る時代ではない。保存会の中で民主的に解決してほしい。来年の開催が危がまされる。

来秋のNHK朝ドラ

「まんぷく」について

(大阪維新の会池田)

「てるてる家族」に続き、本市が舞台の朝ドラが来秋放映される。その準備や対策について問う。

ウオンバットに続く
千載一遇の機会が到来

テレビ放映に先駆け、NHKと日清食品に事前協議を実施して、資料提供やタイアップ、にぎわい創出や観光イベントなど地域の活性化に万全な対策を講じる。



起業家支援の
取り組みについて

(自由クラブ)

「事始めアシスト池田」の実績と課題。いけだピアまるセンターの活用状況と支援内容を問う。

商工会議所等と連携
創業者の支援に努める

「事始めアシスト池田」は、池田商工会議所・池田泉州銀行等との連携により実施。商工会議所による支援として「創業者セミナー・スクール」を開催。今年度はセミナーに19名、スクールに15名が受講。創業の機運を高めることが課題であり、先輩創業者の生の声を聞く機会を設けるなど機運向上に努めている。いけだピアまるセンターでは、現在4名の事業者が本市での事業化に挑戦している。支援としては安価な事業拠点提供のほか、商工会議所等と連携し、資金繰り等の相談対応や必要な情報提供を行っている。いけだピアまるセンターについては「事始めアシスト池田」とあわせて、再度あり方についての検討が必要と認識している。

世界で活躍する

問 池田出身者との交流について
(大阪維新の会池田)

「世界の池田つ子会議」と称して産業界や学会、スポーツ界で活躍する池田出身者と小中学生との交流を企画し、「教育のまち池田」をより強く推進してはどうか。

答 キャリア教育の一環として積極的に実施

各分野で活躍する池田出身者との触れ合いは、学業やスポーツ、音楽等の素晴らしさを再確認できる。また、社会で自立するキャリア教育の充実も伴う。今後も池田出身者のみならず、著名人を招いた講演会を積極的に実施していく。

問 東京五輪の
ホストタウン登録に当たって
(大阪維新の会池田)

本市がロシアの五輪ホストタウンに登録された。その利点や準備受入体制について問う。

答 国際交流も進み
関連施設の改修に国費も

ロシア男子バレーボールチームを迎える。市民の五輪関心も高まり、地域の活性化や国際交流も進む。滞在日程や食事メニューなど

十分な事前調整が必要だが、起債等を利用した関連施設の改修も可能となる。市民の方々には積極的に行事に参加していただきたい。

問 中学校の課外活動の
指導者について
(自由クラブ)

中学校課外活動の部活動指導員導入について問う。

答 府教育庁の補助等の
動向を踏まえ導入を検討

部活動指導員制度は、今年4月新たに規定された。今後、府教育庁の補助等の動向を踏まえつつ、制度導入について検討していく。

問 ペッパーの
契約満了後の動向は
(自民同友会)

現在、100台の人型ロボット「ペッパー」をソフトバンク株式会社から無償貸与を受け、市内の公立小・中学校に導入し、全国に先駆けてプログラミング学習を行っているが、無償貸与期間は2020年3月までとなっている。国の指針では2020年4月から全国の公立小学校でプログラミング教育が必修科目となるが、契約満了後の動向は。

答 返却もしくは
有償貸与となる予定

プログラミング教育推進のため導入された「ペッパー」については今年度から3年間無償で貸与された後、契約満了後の4年目以降は返却もしくは有償での継続利用となる。今後も学校教育の活用方法について研究を進め導入効果について検証を進めていく。

問 「起立性調節障害」
に対する対策は
(市民クラブ)

学校生活において、子どもたちが取り巻く環境が変化をみせている。中でも「起立性調節障害」という病気が広がりを見せるが、病気の症状と教育委員会としての対策・対応を問う。

答 病気は認識しており
周知方法を検討する

「起立性調節障害」については教育委員会として認識しており、医療関係者から不登校児童・生徒の3割程度はこの病気が併存しているとの情報もある。「朝起きられない」等の症状があり「怠惰ではないか」と言われることもあるように、本人の意思ではない病気のため学校や教員が理解する必要

性があり、認知度を上げるため教職員・保護者を対象とした専門家による講演会の開催や、いじめ不登校問題対策委員会等で話題にする等、周知の徹底を図る。また、教育委員会のHPへの掲載や資料作成も検討する。

問 特別支援教育音楽療法の
効果について
(市民クラブ)

音楽療法について、知的障がいや自閉症などの障がいのある子どもにとって、発達・コミュニケーションに大変効果をあげ好評である。その実際の効果は。

答 心身の発達に
よい影響を与えると考える

音楽療法は、音楽活動を通して社会性のスキルを習得でき、心身の発達によい影響を与える。



どの子にも
行き届いた教育を

(日本共産党)

ほそごう学園の学級編制については、来年度からも必ず複数学級にするとのことだが、市内全ての小中学校も複数学級にすべきである。また、少人数学級の推進について林文部科学大臣は小中学校の学級編制の改正時にしっかりと検討すると答えている。文科省のアンケートでは、少人数学級の評価について「学力が向上した」が小学校98%、中学校94%「不登校やいじめなどが減少した」が小学校88%、中学校77%となっている。教育日本一をめざす池田市としてどの子にも行き届いた教育、安全安心な学校生活が送れるよう少人数学級の推進を求める。

財政状況を鑑み
検討する

複数学級は来年度もほそごう学園も含めて全小中学校で対応する。少人数学級については今後国や府の動向を注視し、35人学級の早期拡大の実現に向けて要望を行うとともに財政状況を鑑み検討する。

能勢街道と井口堂公園の
計画的な整備は

(公明党)

市外からも井口堂公園に多くの人が来ているので、能勢街道の整備と樹木剪定などが必要では。

重要な歴史遺産であり
整備も進める

能勢街道は重要な資源のため、今後の活用方法を検討していく。公園の樹木剪定も計画的に進める。

「夏休みの課題展」等の
作品を公開しては

(公明党)

毎年開催されている理科教育展や夏休みの課題展の作品をデータ保存して、インターネット上でも公開するなどの取り組みをしては。

今後ニーズや課題を踏まえ
実施を検討

発表の機会をふやすことは、子どもたちのやる気と自尊感情を培っていくことになる。ニーズや課題を踏まえて検討したい。

就学援助制度の
入学準備金は入学前支給に

(日本共産党)

現在の入学準備金制度は、入学後に支給されており、入学前の必要な時期に間に合わなくて困るとの声がある。各地で入学前に前倒し支給する自治体がふえており、本市でも入学前に前倒し支給を実施すべきではないか。

関係要綱等の整備の上
実施に向けて検討

必要な児童生徒に必要な手立てをするのが就学援助制度の目的である。制度周知や受付、予算の問題などがあるため、来年4月にというわけにはいかないが、近隣他市の制度事情等も考慮しながら、実施に向け柔軟な対応ができるよう検討したい。



市立池田病院の
エスカレーター等について

(市民クラブ)

正面玄関のエスカレーターが停止に至った経緯を問う。また、病院内にコンビニを導入することになった経緯について問う。

事故が続いたため停止
安全対策により再稼働

エスカレーターは平成21年と22年に事故が4件続いたため停止。誘導柵等を設置し再稼働予定。

コンビニは一般利用者のサービス向上や職員の福利厚生を図るために、院内に設置するもの。365日朝7時から夜9時までのオープンにより患者サービス、職員福利に貢献できるものと考ええる。



2025年を見据えた
医療と介護の連携は

(公明党)

「これからの超高齢社会を考えると、地域包括ケアによる、在宅医療、在宅介護の充実がさらに必要と考える。したがって、自分たちが現在住んでいるところで安心して暮らし続けられるよう、地域そのものを、安心できるケアシステムで覆えば、家庭は病院のベッド、道路は病院の廊下という、低コストで住み続けられるのではないかと。そこで、2025年を見据えた「医療と介護の連携」について、本市の構想と方向性を問う。

引き続き
普及啓発に努める

在宅医療・介護連携体制の充実を図ることは、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくり」に不可欠なものと認識。具体的には、平成29年度より「在宅医療・介護連携推進事業」を市立池田病院に委託し、在宅医療・介護が一体的に提供される体制の構築をめざし、医療・介護の関係者間で顔の見える関係づくりに取り組んでいる。今後も引き続き普及啓発に努めて参りたい。

シルバー人材センターでの
自主事業の展開は

(公明党)

現役時代に培ってきた貴重な経験・ノウハウを活かした事業を展開するには広い事務所が必要では。会議等に利用できる多目的室は必要と思料現状のままでは新たな展開ができないので、スペースの確保に努めていきたい。

敬老の里プロジェクト
市民の声を広く聞いて

(日本共産党)

敬老の里プロジェクトは、利用者や地域の住民に大きな影響を与える。広く市民の声を聞き進めていく必要があるのではないかと。

2月に4回
住民対象のワークショップを開く

計画は高齢者施設が該当し周辺施設も検証・検討中。ワークショップは計画の周知、住民同士の意見交換、アンケートで意見を聞く。



新公立認定こども園の
開設について問う

(市民クラブ)

平成31年4月開園予定のひかり幼稚園・呉服保育所認定こども園の定員数・教育課程・給食・預かり保育について問う。

地域ニーズに合った
認定こども園をめざす

定員数は、ひかり幼稚園の敷地内で確保できる建物の面積を前提に、保育ニーズを基本として、教育委員会の意見も踏まえ、定員を設定していく。給食に関しては、自園調理で毎日給食を実施する。預かり保育は、現在と変わらない内容で実施予定。

留守家庭児童会の
小学校高学年への拡充を

(日本共産党)

留守家庭児童会の小学校高学年への拡充は来年度からの計画となっている。施設・設備及び支援員の対応状況について問う。

学年延長について
環境整った学校から

学年延長は、学校内の余剰教室の利用について教育委員会や学校と協議している。環境が整った学

校から段階的に拡充していきたい。支援員も随時募集をかけている。

ドナー助成金制度の
創設について

(市民クラブ)

人に優しい池田市をアピールするために、ドナー助成金制度を創設してはどうか。

取り組みを推進するため
前向きに検討する

保健所が中心となりドナー募集のための普及啓発等を行ってきたが、現在は、健康増進課の窓口でもパンフレットの配布を行っている。骨髄移植に向けた取り組みをさらに推進するため、ドナー助成金制度の創設を前向きに検討する。

死者が多いヒートショック
問題への対応は

(公明党)

毎年1万人の犠牲者が出ていて熱中症の死亡者数よりもはるかに多い。もっと告知が必要では。

入浴時の対策など
情報発信が必要

入浴時には脱衣室を暖めるなどの情報発信に努めていきたい。



問 コミュニティバス・デマンドバス早期実施を
(自民同友会)

本市で実施するとなると、どのような方法が現実的であると考えられているのか。また、費用はどの程度必要と考えているのか。

答 平成30年度現況調査を実施し実現方法を検討

コミュニティバス・デマンドバスの導入については、高齢化が進む中、新たな交通手段として有効的であると認識している。本市においては、平成30年度に調査費を計上し、現況調査や交通事業者へのヒアリング調査などを実施し、どのような方法が有効であるか検討を行っていく。費用については現時点での概算では、コミュニティバスの年間委託料は約1億2千万円、デマンドバスでは約3千3百万円必要である。

問 「住まいの貧困」と向き合う住宅政策を
(日本共産党)

貧困と格差が広がる中で、住まいの貧困は世代を超えて広がっている。住宅確保に配慮が必要な高齢者や障がい者、低所得者、ひとり親家庭等を対象に、国交省が進める空き家を活用したセーフティネット住宅を実施してはどうか。また、市営住宅の拡充、府営住宅の移管計画について問う。

答 府と連携しながら慎重に検討したい

池田市空家等対策協議会で空き家バンク制度の実施を検討中。住宅セーフティネット制度は、所有者の府への登録が必要で、要配慮者の入居を拒まないことが条件。府との連携で慎重に検討したい。市営住宅は人口減少、財政負担等を考慮し市営住宅長寿寿命化計画の見直しを行う予定。府営住宅の移管は覚書を締結し、管理制度の違いなど種々の協議を重ね、移管順序や開始時期などを決定する。

問 今後の石橋駅周辺整備の方向性について
(自由クラブ)

石橋駅周辺の長期的な整備の方向性について問う。

答 駅周辺のまちなみ整備を現在、検討している

駅周辺のにぎわい創出の一環として、周囲の景観や歩行人等に配慮した、まちなみ整備を現在検討している。道路等の維持管理についても、メンテナンスが容易な材料を選定し、現状復帰の方法についても検討する。なお、事業推進に伴い水道管やガス管等の更新もあわせて実施できるよう各施工主と協議を進める予定。石橋駅前公園の整備については、今後、財政状況等を勘案しながらステーションも含め検討していく。

問 市役所等の駐車料金の最大料金設定について
(自由クラブ)

市役所閉庁時、五月山体育館及び総合スポーツセンター駐車場の最大料金設定の導入について問う。

答 利用者の利便性の向上等を勘案して研究する

市役所閉庁時の最大料金設定については、どのような方策が有効かも含め検討していく。五月山体育館とスポーツセンターについては、利用者の利便性向上と多くの方に利用してもらう事とのバランス等を勘案しながら料金設定の研究をする。

問 イノシシ・シカ等の対策について
(日本共産党)

テレビや新聞の報道によると、京都市でイノシシが中学校・高校の校舎内を暴走。神戸市では二人が噛まれたとのこと。本市でもイノシシやシカが出没し、神田地域では、アライグマが多く見かけられる。真冬に向かう中、野性動物が市街地に多く出没するため、被害対策が必要ではないか。

答 猟友会と連携して鳥獣被害対策を行う

シカ・イノシシ対策は新名神高速道路の助成金を活用し捕獲檻を購入し、鳥獣被害対策を行っている。来年度も助成を受けて進める。

委員会 レポート



12月定例会では、9件の議案及び請願1件を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

12月21日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された9件の議案はいずれも原案どおり可決しました。

また、請願1件については不採択と決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

問 来街者からの収入をいかにふやすかが課題では

〈一般会計補正予算〉

今回、阪急池田駅構内へのインフォメーションセンター設置に係る追加工事費用として、980万円予算計上している。

インフォメーションセンターの設置については、一定の評価をするが、現在の観光行政は、来街者に対し、観光施設の案内や、イベントの紹介などに終始しているきらいがある。

今後は、本市の地域経済の活性化のためにも、来街者いかにお金を使ってもらうかが、課題であると考え、見解を問う。



答 自主型の組織づくりによりまちの活性化につなげる

来街者にお金を使ってもらうには、まず、地元の商店や飲食店などが、もっと積極的にDMO組織に関わり、自らの労力や費用で店舗の宣伝を行って、来街者を呼び込むことが重要である。

そして、商店等が、売り上げを伸ばし、補助金等に頼らない、自分たちだけで運営できる自主型のDMO組織にすることが、将来的にまちの活性化につながるものと考えている。



文教病院委員会

問 新学校給食センター建設の進捗状況と今後の日程は

〈学校給食センター条例の一部改正〉

新学校給食センター建設の進捗状況と今後の日程について問う。

答 平成31年4月開業をめざし実施設計に取り組んでいる

これまで地元の自治会、実行組合の協力を得て、土地の取得に取り組んできた。また、並行して基本設計にも取り組み、新学校給食センターの概要について取りまとめたところであり、現在は実施設計に取り組んでいる。

今後の日程については、補正予算が可決されれば道路拡幅工事に着手し、平成30年3月末の完了をめざす。本体工事については、国の補正予算の動向にもよるが、平成31年4月の開業をめざして取り組みたい。



義務教育学校となる メリット・デメリットは

《学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定》
《公立学校設置条例の一部改正》

義務教育学校となることによるメリット、デメリットについて問う。

新教科の創設等がメリット デメリットはないと考える

メリットとしては、教育課程の弾力的運用が可能になり、新教科の創設や学年間での学習内容の入れかえができるようになること、各種計画の策定や学校評価の実施など、今まで小中学校でそれぞれに取り組んでいた事務が1つに集約されるため、教員の多忙化を緩和することができると。また、児童・生徒の一体感、学校への所属感、帰属意識がより高まるのではないかと期待しており、現在と比較して義務教育学校に変わることによるデメリットは見当たらないと考えている。

市立池田病院として 力を入れている取り組みは

《病院事業会計補正予算》

C型肝炎治療薬の新薬発売に伴う患者増を見越して、今回補正予算を計上しているが、現在、市立池田病院として特に力を入れている取り組みについて問う。

在宅医療の推進や 地域包括ケアシステムの構築

地域医療支援病院として邁進する一方、現在、在宅医療の推進に努め、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる。具体的には、終末期に自身が希望する生き方や医療等について、家族や医療・介護関係者と話し合う機会づくりのため、「事前指示書」いわゆる「エンディングノート」を作成し、終末期を含む在宅医療の推進に取り組んでいきたいと考えている。



厚生委員会

助成金の自動償還システム 導入によるメリットは

《一般会計補正予算》

平成30年4月の府の福祉医療費助成制度の改正に伴って、助成金を自動償還するシステムの導入のための電算委託料が計上されているが、導入によるメリットと自動償還に必要な手続きについて問う。

受診データを一元管理し 対象者へ案内を自動送信

今回のシステム導入により、助成対象者の院外調剤を含め府内全医療機関にかかった受診データを一元管理でき、一人当たりの月額負担上限額を超えている者に対して自動的に案内を送付できるようになる。今後は対象者に指定口座の届出をしてもらい、超過分を返金することになり、2回目以降は届出なしに自動的に返金されることになる。

この自動償還は、平成30年4月受診分から対象で、老人医療費分についても対応しており、発送は7月頃を予定している。

土木消防委員会

五月山緑地総合案内所前の トイレ改修の概要は

《一般会計補正予算》

本補正予算は、平成29年の10月に五月山動物園に新たなウォンパットが加わったことにより、動物園の来場者の増加が見込まれるため、五月山緑地総合案内所前トイレを改修するものであるが、その概要と防犯対策について問う。

トイレの洋式化に当たり 中廊下等も改修

改修期間は平成30年1月から3月とし、便器を洋式化するに当たり、従前の個室数を確保するため中廊下をなくす予定である。防犯対策としていたずらや破損に対応するため、割れにくい便座なども検討し、非常時に対応できるように正面と男女別に計3箇所の出入り口を設けるものである。プライバシーの観点からトイレへの防犯カメラの設置は困難であるが、危機管理課や他部署との調整の中で周辺への設置は検討していく必要があると認識している。

○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
平成 28 年度池田市病院事業会計決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成 28 年度池田市水道事業会計決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成 28 年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成 28 年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛 成 多 数)
平成 28 年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成 28 年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛 成 多 数)
平成 28 年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全員異議なし)
平成 28 年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛 成 多 数)
処分報告について 専決第 4 号 平成 29 年度池田市一般会計補正予算 (第 4 号)	承 認 (全員異議なし)
学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 (賛 成 多 数)
池田市公立学校設置条例の一部改正について	原案可決 (賛 成 多 数)
池田市立学校給食センター条例の一部改正について	原案可決 (賛 成 多 数)
池田市立児童文化センター条例の一部改正について	原案可決 (全員異議なし)
不動産の取得について	原案可決 (全員異議なし)
池田市立五月山児童文化センター指定管理者の指定について	原案可決 (全員異議なし)
財産区管理委員の選任について	同 意 (全員異議なし)
平成 29 年度池田市病院事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決 (全員異議なし)
平成 29 年度池田市介護保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決 (全員異議なし)
平成 29 年度池田市一般会計補正予算 (第 5 号)	原案可決 (全員異議なし)
人事院勧告に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決 (賛 成 多 数)
職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	原案可決 (賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市病院事業会計補正予算 (第 2 号)	原案可決 (賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市水道事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決 (賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市公共下水道事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決 (賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決 (賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市介護保険事業特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決 (賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決 (賛 成 多 数)
平成 29 年度池田市一般会計補正予算 (第 6 号)	原案可決 (賛 成 多 数)

○議会提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
議員辞職の許可について	許 可 (全員異議なし)



市民の皆様には日頃から市議会に對しまして、温かいご支援とご指導、また貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

さて、12月定例会では、五月山児童文化センター条例の一部改正、五月山緑地総合案内所前トイレの洋式化や阪急池田駅構内にできるインフォメーションセンター、新学校給食センター建設に係る道路拡幅工事の追加予算並びに整備事業用地の取得などについて活発な議論が交わされました。

今回の市議会では、一般質問をはじめ本会議と各常任委員会における審議内容などを掲載いたしました。

私たち編集委員は、お一人でも多くの市民の皆様にご愛読していただけるように、よりわかりやすい紙面づくりをめざして取り組んでまいりますので、今後もどうかよろしく願います。

市議会だより編集特別委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副委員長	委員長
細井	前田	石田	倉田	荒木	藤原	三宅
馨	隆史	真澄	正起	美知子		